



マッシー川口の
from NEW YORK from NEW YORK from NEW YORK

from New York

「たまごっち」アメリカ上陸! の巻

ハロー！こんにちはマッシーです。お元気ですか？それにしても多き「たまごっち」のサイト！Gooでサーチしてみたら6639もあったわ！まだブームは生きてるの？読者のなかで「たまごっち」にハマッてるヒトってどのくらいイラッシャルのかしら？

新聞や雑誌などでご存じとは思いますが、5月1日から北米でも「Tamagotchi」はおもちゃ屋さんなどの店頭で顔を出しましたヨ。値段はお店によってまちまちだけど\$14.99～\$17.99ぐらい。ニューヨークでは、メーシーズやFAOシュワルツやトイザラスでも買えるはずなんだけど、売り切れてたりして、じらして待たせる戦略はここでも同じみたい。バンダイアメリカのサイトでチェックするといわカモね。宣伝の効果もあってか、アメリカ人の友人からも「タマゴッチ」の話が出るようになったワ。こっちのタウン誌「TIME OUT」の今週号でも「Are you my mommy？」と、写真入りでぱっちり載ってるウ。

お披露目の当日はマンハッタンの5番街にあるニューヨークっ子に人気のおもちゃ屋「FAOシュワルツ」で朝10時の開店と同時に売り出し開始！！映画「BIG」でトム・ハンクスがピアノのお付け鍵盤をタップダンスしながら弾いていたシーン覚える？あの舞台になったお店なのよ。朝9時からメディアへのPR用に、店のまえの赤じゅうたんに、大きなトラックから紫のタイトの「人間たまごっち」が踊り出てきて、ミュージカル「アニー」に出演中の小さな女優達に「たまごっち」を配って握手するというイベントがあったけど、登場の派手さほどにはウケなかったの！



誰とでも一緒に写真を撮ってくれる「人間たまごっち」

それに、あどとき店にいた子供達はサクラだそうよ。さすがバンダイ。私もテレビの取材でレポートしていたけれど、驚いたのはメディアの多さ。日本のテレビはもちろん、アメリカの三大ネットワークをはじめ、新聞、雑誌など30社以上が詰めかけてました。ハイテクJAPANで一大現象を起こしたバーチャルペットの上陸ということで、アメリカではニュースになるらしい。

ブレスの受け付けは朝8時半からで、1人ずつブレスキットを配ってくれた。なかにはブレス用情報書類と「たまごっち」。開けてみるとラッキーにも人気の「白のたまごっち」だった。店のまえで並んで待つカメラクルーのまえで私が「Tamagotchi」を手に持ちながら立ちリポを撮影していたら、アメリカのテレビ局CBSの記者に取材されちゃった。日本のテレビのリポーターとして「たまごっち」についてインタビュー受けてるところが、CBSの次の日の朝8時に流れたらしい。それくらいブレスで大にぎわいなのもそのはず。バンダイアメリカはパブリシティーに相当力を入れていた模様。まず当日のニューヨークタ

カワグチ マサヨ

ニューヨーク在住のフリージャーナリスト。他にコナミの人気ゲーム「ときめきメモリアル」の片桐彩子役（声優）をはじめ、現在、関東地方のベイFMで「ニューヨークレポート」（毎週金曜日午前8時すぎ）テレビ朝日のニューヨークレポーターとして出演中。



イズム紙にもデカデカと広告が紙面を飾っていたワ。「Good Morning America」という朝のモーニングショウでも報道されていたしね。さらに朝早くから、ラジオCMもオンエアしていたの。アメリカでの名前も「Tamagotchi」だけど、アメリカ人にはちゃんと発音するのが難しいらしく、「タマゴッチ」とか「タマゴウチ」とか「タマブチ」とかに聞こえちゃう。だけどABCやNBCの記者が真面目な顔で、「タマゴッチ」についてカメラに向かって真面目にリポートしていると、チョット楽しい気分になってくる。ニューヨークも今日は平和だ～！！（Niko + Niko）。バンダイでは、6月末までに、1千万個の売り上げを目標としているそうだけど、どうかしら？

10時の開店までに500人ぐらい並んでいたかな？列は5番街から隣のマジソン街まで続いていたけれど、日本のあの3千人の列からすると大したことはないよね。当日は1万個用意されていて、1人2個までの限定つきで売り切れたら終わり状態だったんだけど、発売後約1時間経過後、何個でも買えるように変更。この日の1番のりは朝5時から待っていた日本人のさわやかな男の子2人組。インタビューしたら10個欲しいと言ってたけれど、早くから待っていたのになんか買えず気の毒な気がしたわ。フェアじゃないよね。

1時間半経過して見に行ったら、売場はバーゲン会場と化していた！大きなカゴの周りでずらり日本人が手を奥まで入れてはひっくり返して、白やクリアブルーの箱入りタマゴッチを探しているワケ。日本人の観光客は「こんな風に見えるなんて日本ではあり得ないですヨ」と必死に白ゴッチを探していた。売り出された6色のうち人気の白とブルーは手に抱えられ、あとの黄色や紫や赤紫や緑のは無造作にポイとおかれてく。あ～あ、なんだか浅ましい。「たまごっち」もかわいい遊び道具を通りこして、こっちで買ってあっちはさばく商売道具なのね～。「白いは1万円で売

れるから」と「たまごっち」フリークのお兄さんは15個以上抱えてインターネットで売ると張り切ってたわ。日本人のスーツ姿のサラリーマングループは「営業の仕事で使うんで必要なです」と、抱えすぎて床にばらばらと落としたのを大事に拾っていたヨ。なんなんでしょうね。

日本からやってきたバーチャルペットを育てるのが楽しみだ！と、ニコニコしながらブルーの「Tamagotchi」を手のひらに抱いていたアメリカ人の子供達やお兄さん達の笑顔がとってもカワユク見えた一日

でした。ちなみにアメリカのは宗教上の理由で死なないという噂はウソみたいだけど、星に帰ったことになってる。十字架は出なかったけど、私の白ゴッチ、6オで死んじやった～！エーン。あ～ママは失格だ。次はギガベッツに挑戦か？！CU Soon. じゃまたね、マッシー：)



illustrator : Satoko Kido





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp